

第15回 神戸女学院大学 絵本翻訳コンクール 奨励賞

四日市メリノール学院高等学校 2年 廣瀬葵衣訳

ぞうさんのしま

アーノルドはずっとまえからふなのりをしているぞうです。

アーノルドにとってうみはともだちです。ところがあるひ、はげしいなみでアーノルドのふねはしずんでしまいました。

うんがいいことに、アーノルドはながいはなをつかって、シュノーケルのよういきをすることができました。

なんじかんもたってから、アーノルドはちいさなしまにぐうぜんたどりつきました。

アーノルドはおおむかしのふなのりのしをおもいだしました。

たったひとり たったひとり ひとりぼっち ひとりぼっち、ひろいひろいうみにたったひとり！

うんがいいことに、アーノルドはながいはなをつかって、トランペットのようにおとをだすことができました。「なんのきょくなの？」とさかながききました。

「たすけて～」 「ぼくここにいるよ～」とアーノルドはさげびましたがだれもたすけにきてくれませんでした。

アーノルドはしまをみまわしていました。ちょうどそのときアーノルドのせんちょうのぼうしがちかくをながれてきました。

アーノルドはぼうしをかぶると、ちへいせんにちいさなふねを見つけました。

そのちいさなふねはねずみのふねでした。

やっとたすけてもらえる！

アーノルドはこわれてしまったふねをどうにかしようと思えるかぎりのことをしました。

アーノルドはひものむすびかたをたくさんしっていました。だって、ふなのりのぞうですから。

まもなくすると、としをとったかいぞくがふねでやってきました。

アーノルドはそっとふねにのりました。

しまった！アーノルドはまたヘマをしてしまったのです。

みんなにすこしたすけてもらって、アーノルドはしまをひろげはじめました。

つぎのひのあさ、つりぶねがブォーンとものすごいはやさでちかづいてきました。

というもきかいはちゃめちゃにこわれてしまっていたのです。

みんなぶじにしまにあがることができました。

アーノルドはどんなものでもくふうしてつかいます。

つきがぎんいろにかがやいています。そのしたで、アーノルドたちはみんないっしょにダンスをしました。

そしてひとばんじゅうくじらのうたをうたいました。

いいうたはあつというまにひろまるのです。

まもなくするとみんながぞうさんのしまにむかってやってきました。

アーノルドはともうれしそうにむかえてくれます。「まだもうひとりこれるよ！」

あるひ、そらはどんよりとして、かぜはビュービューふき、うみはゴーゴーとなみをたてていました。

みんながじーっとアーノルドのほうをみています。

そろそろかえるじかんなんじゃない？

「しっかりつかまって！」とアーノルドは言いました。「もっといいかんがえがあるんだ！」